



慈恩

雲林寺報第33号
2022年8月発行



1月2日 雲林寺新年祈禱会

謹んで残暑お見舞い申し上げます。毎日の酷暑と新型コロナウイルスの猛威にはいささか参っておられると思われませんが、檀信徒皆様におかれましては益々ご健勝にてご活躍のことと拝察申し上げます。

この暑い時期というのはお盆の季節でもありません。東京、横浜では七月、その他多くの地方では八月盆であります。当山でも毎年八月十四日に大施食会法要が厳修されております。多くの方に先祖供養（お焼香）にお参り頂いている中で皆様方の合掌のお姿は目を見張るものがあります。

日本では昔から右の掌に仏の心をいただきます、左の掌に自分の心をこめて、これを合わせることによって仏と一つになることができるといわれてきました。

あなたの心を頂戴します。あなたと私は一つです。という意味の言葉です。確かに静かに端座合掌して一心に仏を拝む時、しみじみと仏の心が味わわれ私たちの心に仏の心とびったり波長が感じられると思います。合掌の姿が美しく清々しく見えるのはそのためかもしれません。

毎朝仏前に端座合掌する習慣を身につければ、それを見ている人の目にどんなにか美しく見え、謙虚にして敬虔な心を養うことでしよう。

仏を拝む時だけでなく、お互い同士、相手の心を右の掌にいただき、自分の心を左手にこめて拝み合いの生活を送ることができれば、そこにこそ心の通い合った美しく清々しい人間関係が生まれてくると願いたいものです。

右ほとけ 左はわれと 合わす手の
中にゆかしき 南無のひとこえ

雲林寺三十世住職 轟 省吾

本堂の一部と改修

本来、寺院には法事の控室やご相談室、会食場所等の多目的スペースとして客殿（きやくでん）や書院（しよいん）があるのが一般的です。当山敷地内に約一〇〇年、町役場があった為、客殿を建立する機会を逃し、本堂端のスペースを客殿の代わりとして使用しておりました。



18畳から35畳へ

本堂の照明

一新と検討



現在、本堂の照明は全て蛍光灯ですが、今後LEDへの切り替えを検討しております。法事以外でのイベント等で色々な演出のできる、調光可能な照明が便利なのかと思案中ですが、皆様のご意見も頂戴したいと思っております。

第十二回雲林寺護持会

親睦ゴルフコンペ

日時 十月十日（月） スポーツの日
場所 草津カントリークラブ

本年より護持会主催となりました。ゴルフを楽しんでいる檀信徒皆様の親睦を深めて頂きたく、開催致します。是非ご参加ください。

令和四年前期 主な催しのご報告



① 昨年大晦日 除夜の鐘 毎年、来山頂いた方全員に鐘を撞いて頂き、干支のお守りをお配りしております。

② 一月十八日 初観音供養 梅花講が観世音菩薩御和讃、御詠歌をお唱えしました。

③ 二月三日 節分祈禱会 規模を縮小し九十一名の祈禱法要を行いました。

④ 二月十五日 長野原かるためぐりで中央小三年生が来山されました。併せて釈迦涅槃図を見て頂きました。

⑤ 四月三日 大般若会 内献にて六百巻の『大般若経』を転読しました。

⑥ 四月八日 灌仏会 お釈迦様の誕生を祝い、梅花講が釈尊花祭第一番御詠歌(歓喜)をお唱えしました。

⑦ 四月十七日 奥山伴僧坊・薬師堂供養 長野原地区第二・三常会皆様の無病息災を祈念しました。

⑧ 五月十五日 貝瀬地区薬師堂供養 内献にてお焼香しました。

⑨ 七月三十日 坐禅 at 雲林寺 ふるさと再発見企画により二十名の方に坐禅を体験して頂きました。

護持会報告

六月二十日、浅間酒造観光センター三階会場において、第九回雲林寺護持会通常総会が開催されました。
総代世話人の総数四十二名中、出席者二十四名、委任状十五名の合計三十九名、雲林寺護持会規約第二十四条により通常総会が成立されました。

新型コロナウイルスの感染対策として、檀家の皆様を野外での参列をさるることを、雲林寺護持会と入る寺の提案が承認されたことをご報告致します。

| 令和3年度 雲林寺護持会決算報告 (単位:円) | |
|-------------------------------|-----------|
| (収入) | |
| 繰越金 | 1,213,672 |
| 護持会費 | 1,338,500 |
| 護持会費(町外) | 468,500 |
| 雑収入 利息 | 15 |
| 合計 | 3,020,687 |
| (支出) | |
| 宗務費 | 549,810 |
| 慶弔費 | 140,912 |
| 通常総会 | 57,510 |
| 梅花流助成金 | 100,000 |
| 事務費 | 2,820 |
| 積立金 | 1,000,000 |
| 合計 | 1,851,052 |
| 3,020,687円-1,851,052円 | |
| =1,169,635(次年度繰越金) | |
| 積立金:5,000,000円 | |

初めての坐禅

豊田香織



暑い暑い七月下旬、本堂の中は涼しく、心地の良い風が流れていました。

今回は十五分のプチ体験。始まりを告げる鐘の音と同時に、本堂が静けさに包まれます。私は「身を調べて（調身）、息を調べて（調息）、心を調える（調心）」という住職の話を思い出しながら、メートル先の置の目を見つめていました。蝉や鳥の声、車や電車の音：様々な音が聞こえてきます。

とはいえ、私の頭の中は雑念だらけ。あれこれ頭に浮かびます。でも、それでいいそうです。坐禅って、心を無にするとか、何か悟りをひらくとか（勝手な私のイメージです）ではなく、思いは思いのままに、頭の中に浮かぶことを次々に流しながらしていくことではないんですって。

しばらくして「パン」という音が本堂に響いてきました。棒で肩を叩く「警策」です。坐禅の時に祀りされる聖僧さま（文殊菩薩さま）から励まされる、与えられる、という意味だそうです。体験として、全員に与えていただきました。その音が響き渡るたびに背筋がシュッと伸びる気がしました。

少し心がリフレッシュしたような、すっきりした心持ちで、私の初坐禅が終わりしました。「調身・調息・調心」素敵な言葉。心のお守りとして大切にしたいなって思いました。



総代、世話人の退任 文代のご報告

総代であり、雲林寺護持会副会長として長らく務めていただきました長谷川誠様が、先日の通常総会をもって勇退されました。長谷川様には二十年以上、当山護持のために尽力していただきました。功勞を称え、共に謹んで感謝申し上げます。

世話人の交代がございましたのでご報告致します。世話人の交代がございましたのでご報告致します。

長野地区の湯本定由様、山崎敷男様
大津地区の吉澤功様
与喜屋地区の萩原富夫様
羽根尾地区の黒岩進様
横壁地区の金子茂雄様

六名の皆様には、長年にわたり寺の運営に携わり、寺行事の手助けや檀家の取纏めなどをされる役目を勤めて頂きました。ここに深く敬意を表し、感謝申し上げます。

新世話人の皆様



長野原 篠原博史様
湯本定由様後任

長野原 酒井保治様
長野原一本松担当

与喜屋 中村剛様
萩原富夫様後任



羽根尾 黒岩清次様
黒岩進様後任

大津 湯本完司様
吉澤功様後任

大津 嶋村久夫様
大津二軒屋担当

横壁 萩原國男様
金子茂雄様後任

戒名のはなし

紫雲院殿政誉清浄晋寿大居士

安倍晋三元首相の戒名です。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

戒名は故人がこの世に生きたことをたたえ、安らかに天界に入って頂く象徴です。仏の弟子になった証や、仏の世界に入るための入場許可証のようなものとして授かります。基本的に住職がお授けします。

宗派によって、構造や意味合いは変わりますが、その人の特徴を表した漢字が選ばれます。その人の人生を表し、亡き後、生きた証を後世までにお伝えするものでもあります。

安倍元総理の戒名を紐解いてみたいと思います。「紫雲」安倍元総理が亡くなられた時に空が紫色に輝き仏様がお迎えに来るという来迎思想

「院殿」政治家、指導的役割を果たす職業、地域の名家や功労者等である

「政誉」政治についての功績

「清浄」少しもげがれなく清らか

「晋」安倍晋三の名前から一字

「寿」永遠の命

「大居士」男性で最高位を表す

雲林寺では戒名をお授けする前に、その方のご性格、ご趣味・特技、お仕事、生い立ちなどを、丁寧に伺いし、戒名に反映させています。

又、生前戒名のご相談も承っております。戒名は、人が亡くなった時に頂く名前と考えている人が多いようですが、本来は、「仏教徒になった時に頂く名前」です。戒名を頂くことで、改めて正式な仏教徒になった、という気持ちになれば、人生が充実し、運命が開けてくるのではないのでしょうか。

さて有名人・著名人の戒名を考えてみて下さい。

① 陽光院天真寛裕大居士

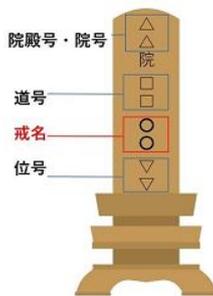
昭和の大スター。大本山總持寺に墓地があります。

② 大光院力道日源居士

日本プロレス界の帝王。力士でもありました。

③ 茲唱院美空日和清大姉

昭和の歌姫。名前がそのまま入っております。



答えは次のページで!!

梅花流たより

梅花講長会にて令和四年三月三日伊香保研修会が
決まり会費の納入が済んだ頃、再び新型コロナウイルス
のため中止の知らせを受けました。
今年度は慶事である梅花流創立七〇周年記念大会が
予定されておりましたが、これも新型コロナウイルス
の影響により中止となりました。大会は中止とな
りましたが、令和四年五月十七日、曹洞宗事務所庁
に於いて代表者のみで執り行なわれ、その様子はリ
モートにて配信されました。

雲林寺講では入講二〇年以上の皆様、宮崎八十様、
山野栄子様、落合雅子様、篠原禮子様、佐藤ふさ子
様、吉崎栄子様、渡辺しず子様、吉澤かず子様、中
山叔子様が奨励賞を受けられました。
次に入講五年以上の皆様、山崎トシヨ様、依田た
つ子様、中澤至子様、山本節子様、黒澤節子様、原
澤幸子様が年功序賞を受けられました。この中には
あと一歩で奨励賞の惜しい方もいらっしゃいました。
お盆が終わりですと次は関東管区の献詠大会が大
本山總持寺にて十一月一日、二日の予定で開催され
ます。大祖堂での献詠を今から心待ちにしております。

私と梅花
宮崎恵美子

私が雲林寺梅花講に仲間入りさせて頂いたのは六
年前です。あまりにも日常生活とかけ離れた世界、
私の中には多少の違和感もありました。でも何も分
からない私に、二十年以上もキャリアの違う先輩方
や先生が投げかけてくれた眼差しは優しさそのもの
でした。

お寺の入口の大きな引き戸を開け、一段が普通の
高さの倍もある階段を上がるとそこは別世界。まず、
本堂中央のお釈迦様に手を合わせ、次に西奥の施餓
鬼棚と呼ばれる三界全ての霊を祀っている棚に線香
をあげ、最後に歴代住職様が祀られている開山堂に
手を合わせ、教室に入ります。楽譜は見たこともな
い形のもので覚えられるか心配でした。でもCD教
材があるのでそれを聞きながら音をつかむ事ができ
ます。一、二年すると検定試験を受けるよう勧めら

れます。無理に受けなくても良いのですが、
殆どの人が受け、階級を上げていきます。今
思うと、試験を受ける為に課題曲を必死で練
習する事で、その曲は決して忘れないという
利点に気付きました。確かにただ毎回、お唱
えをしているだけでは、なかなか覚えられな
いかもかもしれません。

また、梅花は毎年全国大会や県大会があり、
中国の方々の参加もありました。北は北海道
から南は九州まであらゆる所に行ったりと先
輩方が話してくれました。その旅行があるか
ら梅花を続けているのだと笑う方もいるの
ですが、確かにそれは大きいかもしれません。
ここ三年はコロナで中止でしたが、福井、静
岡、熊本へ行った楽しい思い出が沢山ありま
す。なかなか行けないお寺巡りが楽しみの一
つです。

このところ全国的に梅花講員の数が減
り、高齢の為辞める人が多くなり、近隣のお
寺さんをもみても激減し
ているのがわかります。
雲林寺は人数が多く、
大会へ行っても誇らし
く思いますが、これか
らの梅花の為に多く
の人に梅花に触れ、好
きになってもらえたら
と思います。月に二回
で、生活の負担にもな
らず、非日常を味わえ
る上に、お寺の年中行事
に参加できる事も魅力
の一つです。私は大般
若会が大好きです。

私と梅花に出会ったのは
七年前の秋頃……葬儀の
式の中でご導師様が法具
を用いて、唱えられているのを拝見し、関心を
持った事がきっかけとなりました。



和讃を通しての出会い
原澤幸子



前列左、宮崎恵美子様

感謝録

そののち、講員の皆さんが葬儀の式の中で登壇されているのを見て、私もやってみたい！……と思い、勇気を出して雲林寺さんに連絡をしました。檀家でもないけれど、暖かく迎えて下さり……
初めは、なんの知識もなく、教えて頂くままに、日々が過ぎて行きましたが、歌詞に込められた仏様のひとつひとつの教えに触れ、集まった皆さんと一緒に学び、楽しい時を実感しています。
皆さん、私の親世代の方々ですが、和讃を通して様々な場所へ足を運び、時を過ごし、憩いの場からも教えて頂く事が沢山あり、私にとっても大切な場所となっています。
この恵まれた出逢いを大切に、これからも頑張っ
張って続けていけたらと思います。そして、新たな皆さんとも共感しあえたら幸せです。

- 節分会
壺萬圓
大般若会
壺萬圓
- 櫻井芳樹様
 - 山口次夫様
 - 佐藤良平様
 - 岩木夏雄様
 - 唐澤明雄様
 - 佐藤良平様
 - 萩原宗仁様
 - 酒井保治様
 - 湯本茂樹様
 - 一場茂樹様
 - 野口芳夫様
 - 橋詰隆夫様

- 長谷川誠様
- 山口次夫様
- 黒岩元様
- 山口次夫様
- 櫻井輝久様
- 佐藤良平様
- 萩原宗仁様
- 割田三男様
- 割田裕美様
- 野口明成様
- 轟捷夫様
- 六地藏
天明地藏
お掛け
- 篠原禮子様
- 橋場墓地
地藏お掛け
- 加部よし子様



戒名の答え①石原裕次郎②力道山③美空ひばり

慈恩三十三号発行

曹洞宗 大洞山 雲林寺

住所 長野原町長野原七十三
電話 〇二七九一八二二二〇一